



道路建設産業労働組合協議会

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目2番16号TGBビル内(NIPPO労働組合内)

電話03(3563)6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

2018年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆様と共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にもかかわらず業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

昨年を振り返りますと、スケートの浅田真央さん、ゴルフの宮里藍さんなど、その道を代表する人気選手が引退しましたが、卓球では10代選手が活躍し、陸上では桐生選手が日本人初9秒台をマークする等、今後も活躍が期待されています。一方で、トランプ大統領による米国経済、英国のEU離脱問題を抱える欧州経済、中国をはじめとする新興国経済の減速、原油価格の動向など、世界経済は非常に予想の難しい状況が続いており、北朝鮮の動きも気になります。

国内では第4次安倍内閣が発足し、政権は6年目を迎へ景気は回復基調が続いていますが、世界の動向の影響が大きく、日本全体が好循環になっているとはいえない状況です。

企業業績は大企業を中心におおむね良好な状態が続いていますが、海外経済の不透明感は拭いきれていない状態であり、日銀12月短観では「大企業製造業で改善、非製造業では横ばい」との判断になっています。

一方、我々が置かれている道路建設産業に目を向けると、年度当初からの受注増加による手持ち工事の消化と、アスファルト高騰により、中間決算では増収減益傾向です。

このような環境の下、昨年3月に働き方改革実行計画が閣議決定し、9月には法律案要綱が纏まりました。社会全体が時短ムードであり、我々道建労協も例年以上に土曜開所運動に取り組んでおります。道建労協加盟企業訪問では、各社長から「本気で時短、休日確保に取り組んでいかなければいけない。」という強い思いを感じました。また、地方協議会のない四国、中国、九州地方では各支店長にお会いし、各地の状況や取り組みについて意見交換させて頂きました。皆さんも労働時間短縮、休日確保に取り組んでいるところだと思いますが、業務量が減らず、就労管理も厳しくなり、中々改善されていないのではないのでしょうか。安全と一緒に特効薬はありません。一人ひとりが時短の意識を持ち、少しずつでも前に進んでいきましょう。私たち道建労協は、道路建設産業を志す若者が、希望を持って安心して働ける魅力ある産業を実現するために活動していきますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。

最後になりますが、本年が組合員の皆さんとご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

道建労協 議長 赤田 淳



フリー

ウェイ

【働き方】

残業時間の減少や休日をいかに取得できるかは、道路業界においても未だに課題である。

その主な原因の一つは、少子高齢化による業界の担い手の不足によるものだ。

現場においては、国交省がその解決の手段として、魅力ある建設現場の実現を目指す「i-Construction」を推進している。これは、建設現場において、ICTを全面的に利用することで生産性を向上させ、労働時間の減少を促す。

現場に対し、内勤で働く者はどうだろうか。

既存の業務のやり方やICTシステムが本当に効率的なものになっているだろうか。業務が最適化されないまま、ただ単純にICTシステムを導入すれば、逆に時間がかかる場合もあり得る。

そうではなく、土台として業務の最適化を行った上で、最適化されたICTシステムを導入することで労働時間の短縮、残業時間の減少、休日取得にも繋がるものと考えてみる。

私も日頃から、自身の業務について今一度立ち止まって考えていきたいと思います。

東京舗装工業社員労働組合

西田 達郎

企業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に合わせて、10月に各加盟単組企業や関係団体へ協力要請を行いました。政府による「働き方改革」が打ち出されており、土曜閉所による週休二日制の実現や長時間労働の削減等に対する業界の考え方や環境も次第に変化しております。各社各団体へ訪問の時に、各社の社長は「働き方改革」に対して待ったなしの状況であると受け止めており、また、次世代の担い手確保、業界の魅力化という観点から、危機感を持ち取り組む姿勢を示しています。

業界全体が改革の実現に向けた行動を実施する環境に変わってきたといえます。社会・業界が変化している現状の中で、私たち一人ひとりも行動しなければなりません。「働き方改革」の旗印はありますが、繁忙を伴う現場は依然と変わらず厳しい状況にあります。社会・業界が変わり働き方の環境が整備されていなければ、週休二日制や時間外労働の削減が実現できない苦労はあります。しかし、私たち一人ひとりが、ちょっとしたことから働き方を変える意識と行動がなければ、改革の実現は難しいものになります。今一度、「私たちができること」を見つめ直して、「働き方の改革」の実現に向けて行動していきましょう。

大成ロテック社員組合 江島 貴行



地協のなれ地域の交流会

四国地区

2017年10月18日（水）高松東急REIホテルにおいて、各単組と本部合わせて総勢13名で四国地区交流会が開催されました。

まずは龍王事務局長から11月土曜閉所月間にむけての取組みの説明がありました。四国地区では毎月第2・第4土曜日のプラント閉所は定着しており、当単組においては、会社側から11月11日は完全閉所するようにとの通達も出ております。意見交換の場では、週一回のノー残業デーが定着してきている単組や、モバイル/パソコンの活用や、オフィスカーを導入している単組もありました。また、労基署の臨検で、出勤簿の乖離を指摘され、是正処置として1分単位で正しく入力し、残業は紙で届け出ている単組もありました。懇親会では、終始和やかな空気のなか、普段は触れ合うことの無い各単組の方々とさらに交流を深めることができ、全体を通して有意義な交流会となりました。



前田道路労働組合 轟木 宏哉

中国地区

2017年10月19日（木）、広島市内にあるセンチュリー21において、「道建労協 中国地区交流会」が開催されました。当日は、中国地方の加盟単組組合員14名の方々が集合して下さいました。中央執行委員会からは赤田議長をはじめ、4名の委員が出席し、組合員の皆さんと活発な意見交換を行なわれました。冒頭では、赤田議長より毎年恒例となっている「11月土曜閉所強調月間」を目前に控え、出席された組合員の方々はもとより、関係者への周知啓蒙について要請されました。自由討議では、政府主導による「働き方改革」が推進される中、道路建設産業で働く仲間たちが集まり、所属する単組でスタートしている取組みや、それぞれの職場で抱えている問題点、普段考えていること等、ざっくばらんに話し合うことができました。交流会を通じ、日頃接することのない他単組の組合員同士で意見を交換できたことで、非常に有意義な時間となりました。



大林道路職員組合 尾崎 吉明

九州地区

2017年10月20日（金）IPホテル福岡において、各単組と本部合わせて総勢20名で「道建労協 九州地区交流会」が開催されました。11月土曜閉所推進運動の取組みについて、赤田議長・龍王事務局長より説明がありました。土曜閉所については、第2・第4土曜を休工にしているゼネコンもあるとのことでした。意見交換では、各単組とも時短が進むにつれ、出来る人間に仕事が偏ってしまうとの問題点も出てきており、工事と合材で温度差もあるとのことでした。時短への取組みとしては、水曜日のノー残業デーや、顧客へ社長名で土曜閉所の要請書を提出している単組や、事務所の固定電話を、平日17時以降や土曜・日曜・祝日は留守番電話に設定する等の取組みをしている単組もありました。懇親会では、お互いの単組活動を通じて、色々な意見を交換し、全体を通して大変有意義な交流会となりました。



前田道路労働組合 伊藤 孝通

全国ボウリング大会

11月は道建労協を含めた建設産労懇の仲間たちで取り組んでいる「土曜閉所強調月間」となっております。中でも、第2土曜日を「統一土曜閉所日」と定め、関係各位には多大な御協力を賜っております。今回は11月11日（土）が第2土曜日でしたが、毎年恒例となりました道建労協主催の全国ボウリング大会が開催されましたので報告いたします。

今回で4回目を迎えた本大会ですが、恥ずかしながら、私も家族を連れて『初出場』させていただきました。プレーするのは実に4年ぶりでしたので、スコアは自慢できませんが（もともと自慢はできない）、小学校4年生の娘も初めてボウリングに挑戦し、大変喜んでくれました。

全国13ヶ所の会場にて、総勢291名の方々が熱戦を繰り広げられました。接戦を制し、見事総合優勝されたのは、トータルスコア397点の三井住建道路労働組合の西田さんです。おめでとうございます！！

道建労協では、第2土曜閉所運動に対し、休日取得のきっかけづくりとして全国ボウリング大会を開催しておりますが、当日は、ご家族やご友人とゆっくり休日を過ごされた方もいれば、諸般の事情により、やむなくお仕事をされた方もいらっしゃるかと思います。組合員各々の11月11日土曜日を過ごされたと思いますが、皆様には、『土曜日は休日である』という意識を、今後とも持ち続けていただくことをお願い申し上げます。

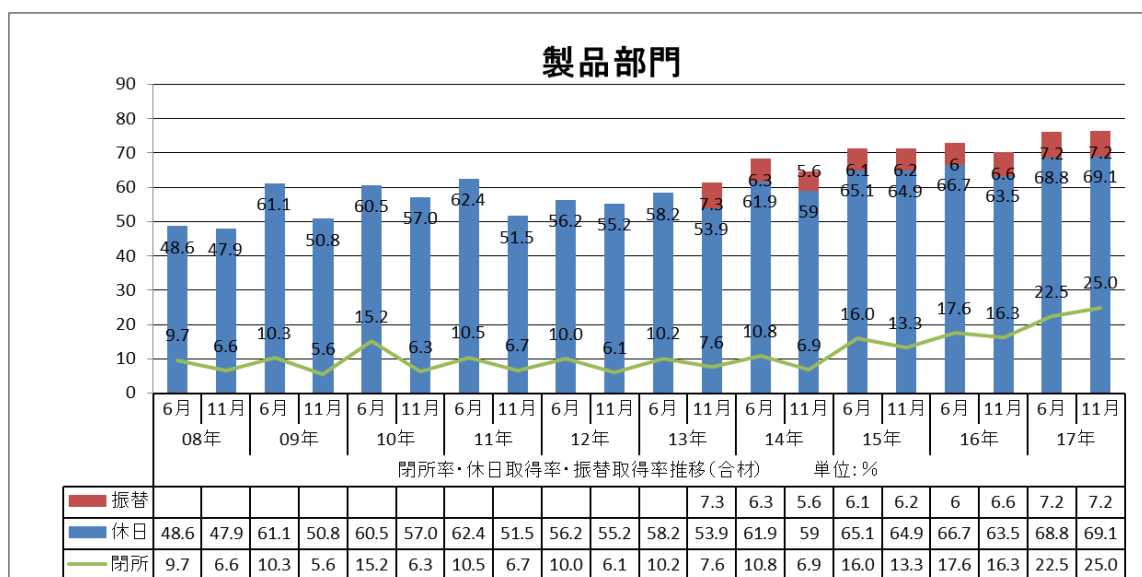
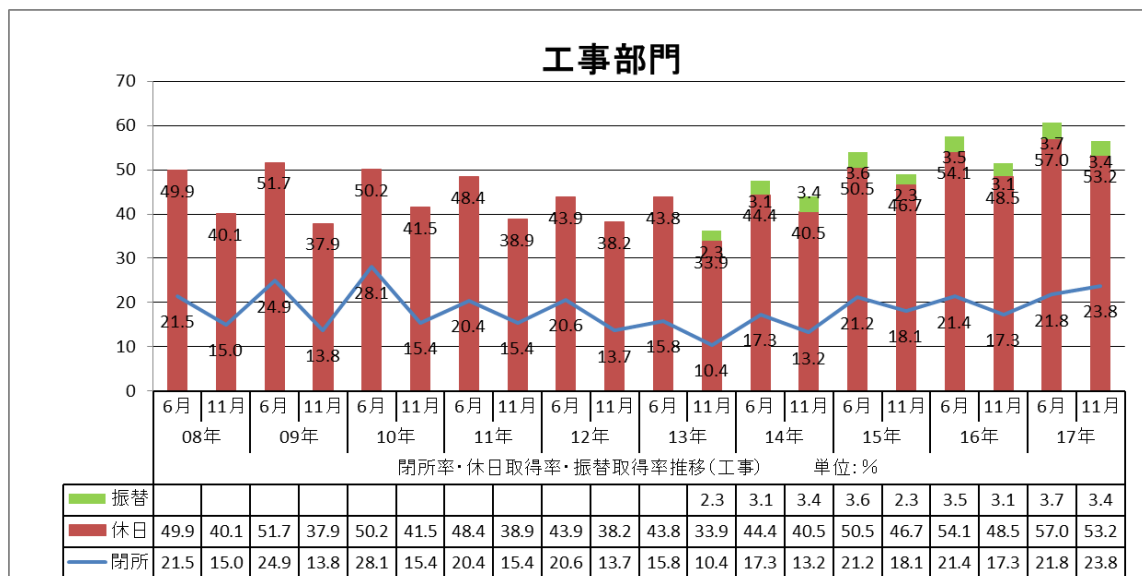
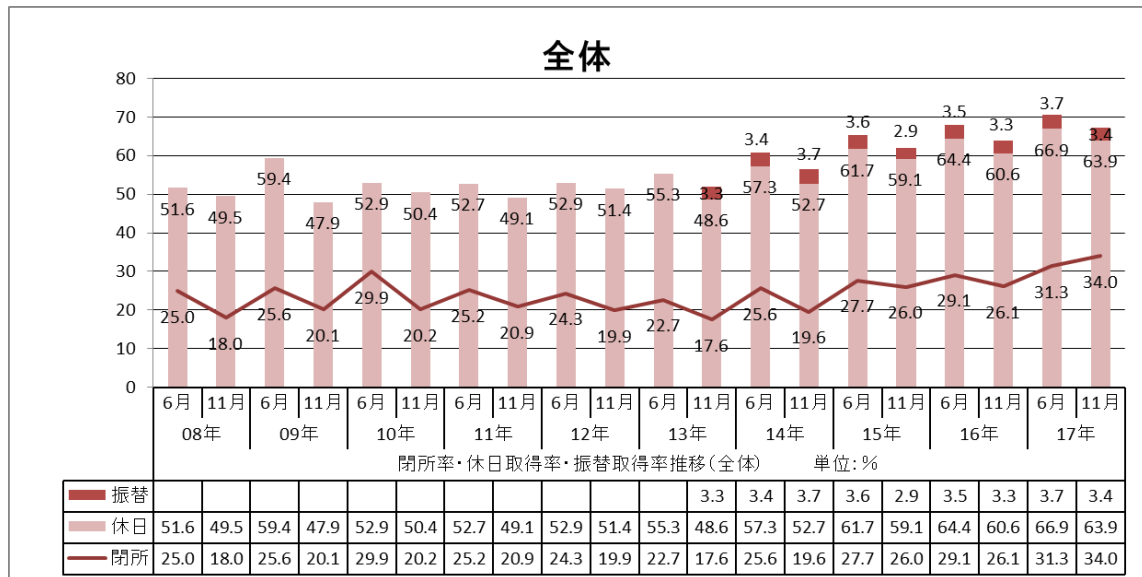
最後に、開催にあたり、各会場の幹事様、サポートしていただいた皆様に深く御礼申し上げます。

大林道路職員組合 尾崎 吉明



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2017 年 11 月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



物知りクイズ

新年が明けて数日が経ち、今頃気づく正月太り…。年末の忘年会から年明けの新年会、つい飲みすぎたり食べすぎたりとしてしまうものです。今回の「物知りクイズ」のテーマは「健康管理」です。ここでもう一度、健康管理の知識を身につけ、これから忙しくなる年度末に向けて体調を整えていきましょう。

Q1. 肥満や低体重（やせ）の判定に用いるBMI指数 [体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗]。

日本肥満学会が定めた基準で肥満となる数値はいくら以上？

- ① 18.5 ② 20 ③ 25 ④ 30

Q2. 食事（朝食・昼食・夕食）以外に食べる間食（お菓子、ジュース、果物など）について、

一日に摂取するカロリーで適量は何カロリー？

- ① 200kcal ② 300kcal ③ 400kcal ④ 500kcal

Q3. 健やかな毎日のための基本的な食生活のあり方を簡単に示した「栄養3・3運動」。

「3・3」の1つは「3食」。ではもう一つは？

- ① 3品 ② 3種 ③ 3色 ④ 3回

Q4. メタボリックシンドローム（メタボ）とその予備群の減少させるため、運動・食習慣の改善を通じた保健指導が国保・健保といった保険者に対し行われております。概ね一日30～60分の中強度有酸素運動（ウォーキング・サイクリングなど）を一週間に何日以上しなければならない？

- ① 特になし ② 1日以上 ③ 2日以上 ④ 3日以上

<応募方法> 下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2月28日（水）

●宛先 〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内 道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

Fax: 03-5487-0051 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE94号物知りクイズ当選者

吉松 愛莉 様（大林道路職員組合）

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2017年は、約200年ぶりとなる天皇陛下の退位決定、働き方改革実行計画の決定、緊迫化する北朝鮮状況、国際的な自国優先主義の蔓延など、様々な出来事があった年でした。
有名無実となった感がありますが、プレミアムフライデーも始まりました。

2018年は戌年（いぬどし）です。

戌年（いぬどし）は、様々なことがスタートする年で、勤勉で努力という意味もあるそうです。

道路建設業界においては、時短を含めた労働環境の改善・若手入職希望者の確保など、解決すべき課題が山積しています。過去の延長線上に未来があるのではなく、常に新しい一歩を踏み出すことでより良い未来を切り拓くことが出来ます。

道路建設業界の未来を切り拓く主役は、我々組合員の一人一人です。

共に、新しい一歩を踏み出し、プレミアムフライデーも4週8休も当たり前の業界にしていきたいと思います。